

介護の魅力を発信 ～これからの未来をつくるkaigoを知ろう～

特定非営利活動法人 未来をつくるkaigoカフェ

プログラム概要

介護の仕事って一見大変そうに見えるけど、どんな魅力や奥深さがあるのか？
子供たちが親しみやすい漫画や紙芝居、クイズなどを用いながら、認知症についての理解や地域の中でこれから必要な視点などを、プレゼンテーション+ワークショップ形式で伝えていきます。



対象者	小学生、中学生、高校生	実施可能エリア	プログラム内容と実施時期により全国で可
テーマ	福祉、職業教育	対応可能日	平日授業、平日放課後、土曜日、日・祝日や夏休み等の長期休暇
費用	交通費実費	主な開催場所	学校、社会教育施設
所要時間	約60分 ※50～100分でアレンジ可能	対応条件	条件をご相談ください

活動概要

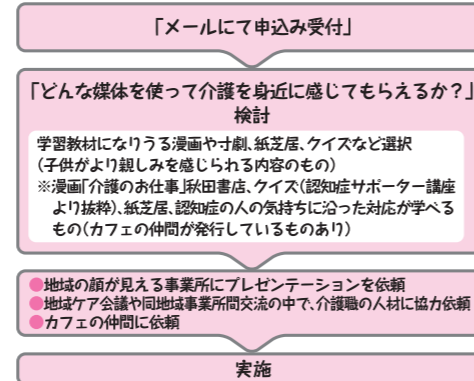
【活動のきっかけ】

お母さまの介護に直面していらっしゃる学年主任の方との御縁から、介護の授業を提案し、開催にいたりしました。

その後定期的にカフェの仲間の強みを生かした「カフェ型」の授業を開催させていただいています。

核家族化が進み、身近に高齢の方と触れ合う機会もない時代、介護を必要とする人の気持ちが理解でき、正しい知識を身につけることが必要です。また介護を身近に感じてもらうところからはじめ、将来の職業の選択肢の一つとしても関心を持ってもらいたいという趣旨で始めました。

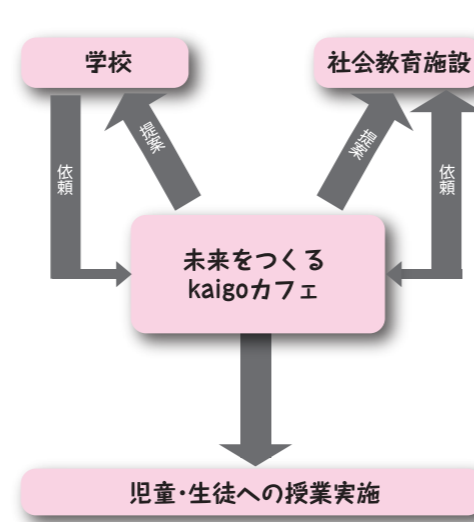
【実施までの流れ】



活動の特長・工夫

- ① 認知症の人の気持ちを理解した関わりを学ぶ**
子供たちに介護の仕事の楽しさ、色々な人がいて、色々な仕事がある社会の豊かさを感じてもらって、「自分ならどうする？」という思考につなげるように配慮します。
- ② 漫画や寸劇、紙芝居、クイズなどで知る介護の魅力**
子供たちの理解を促せる漫画や寸劇、紙芝居、クイズなど利用しつつ、基本的には誰でもできるような内容となっています。（特定の教材などを推奨しています）
- ③ 現場で働く介護職のスタッフから仕事のやりがい、奥深さを学ぶ**
介護の、これまで持たれてきた、暗く地味でつまらない、というイメージを変えられるよう、若手の介護職にプレゼンターへの依頼をし、フレッシュな若手がやりがいや楽しさを伝える工夫をしています。身体介護だけでなく全人的なコミュニケーション能力が求められる奥の深さを伝える工夫をしています。

【実施体制】



プログラム内容

【ねらい】

- 介護を身近に感じてもらう、認知症の理解や接し方を学ぶ。
- 誤った介護のイメージを持たないよう、介護の仕事の楽しさや、やりがいについて理解する。
- 将来介護の仕事についてみたいと、興味をもってもらう。

【進行概要(時間・内容)】 60～100分

STEP1 (30～50分)	現場の介護職に携わる講師からのレクチャー 認知症クイズ 認知症という病気についてクイズ形式でわかりやすく理解します。	レクチャー ワーク
STEP2 (20～30分)	グループで読み解きワーク 認知症高齢者の日常などがユーモアあふれる視点で描かれた介護の漫画(4コマ)を読み解きます。その内容をもとにグループで共有します。高齢者の方の生活や気持ちを理解し、介護の仕事についての楽しさを知ってもらいます。	ワーク
	グループごとにテーマを共有 認知症当事者の困りごと、例えばスーパーや通りすがりで困っている場面設定を寸劇形式で紹介します。(もしくは介護職が理解を促す紙芝居を読むなど)その後、認知症の方に対して、子供たちは地域の中でどんなことを意識して接していく必要があるのか？グループごとに共有します。	ワーク
STEP3 (10～20分)	グループ発表 障害を持った高齢者や認知症の人、家族や身近な地域の人に対して何が出来るか？など自分事として考えたことを発表します。	ワーク



児童・生徒の声

地域で困っている人を見かけたらこちらから声をかけてあげたい。ゆっくり優しく接してあげることが大切。

保護者の声

他者に対する関心と優しいまなざしを持ち、プラスの側面を引き出し合うきっかけに。

教員の声

クラスメイトとの関係性や学級経営にも大きく影響した。自分が生かされる、友達の優しい側面に目を向ける、家庭・社会の多様性を知る機会にも。

本プログラムのポイント

- 困っている人に対する優しい心に気づき育む。
- 自分でもできる弱者への支援について考える。
- 介護の仕事について職業観を育む。

今後の展望

福祉教育は互助を学び、地域のことを知る機会になり、家庭や地域で子供も自分ができることを考え、見つける機会になります。これからますます高齢者が増え、介護を必要とする方が増える一方で介護に従事する人材不足が大きな問題にもなっています。今後、継続的な福祉教育の仕組みづくりに貢献していきたいと思えます。

企業・団体連絡先: 特定非営利活動法人 未来をつくるkaigoカフェ
〒177-0042 東京都練馬区下石神井6-6-2
TEL: 090-3908-3892 e-mail: miraiikaigocafe@gmail.com